

令和4年7月

上野労働基準監督署ニュース



☑ 「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」、「7月」は重点取組期間となっております。



熱中症による重篤な災害を防ぐため、令和4年5月1日から9月30日までの期間において「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を実施しています。WBGT値(暑さ指数)の把握、余裕を持った作業計画の策定、緊急時の措置の確認などの予防対策が確実に実施できているかを確認しましょう。

厚生労働省は、労働災害防止団体などと連携し、事業場への熱中症予防に関する周知・啓発を行う他、熱中症に関する資料やオンライン講習動画等を掲載しているポータルサイトを運営します。

詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください。

STOP! 熱中症クールワーク

検索

熱中症ポータルサイト



☑ 令和4年上半期の労働災害発生状況(上野監督署管内)について

上野労働基準監督署管内における令和4年上半期(1月~6月)の労働災害は、死亡災害2件、死傷災害は147件(6月末速報値)で、前年同期と比較し、25件増加しました。

業種別の発生件数は、保健衛生業57件、商業19件、その他3次産業18件、ビルメンテナンス業16件、建設業13件、製造業5件の順となっています。

事故の型別では、その他(新型コロナウイルス感染症含む)が54件と最も多く、次いで転倒が28件、墜落・転落が16件、動作の反動・無理な動作が13件の順となっています。

第13次労働災害防止計画の当署の目標は、「平成29年と比較して令和4年までに、死亡災害0件とし、死傷災害を10%以上減の169件とする。」ことです。目標達成に向けて、一層の労働災害防止の取組をお願いします。



☑ 「私の安全衛生宣言」を募集します(私の安全衛生宣言コンクールSafe Work TOKYO 2022)。

東京労働局では、「Safe Work TOKYO」の下、官民一体となった労働災害防止の取組を推進しています。

この取組の一環として「私の安全衛生宣言コンクール Safe Work TOKYO 2022」を開催し、東京都内の事業場で働く労働者からの安全面のみならず労働衛生面での対策を視野に入れた安全衛生に関する宣言を広く募集し(7月1日から10月7日)、優秀な作品を表彰することにより、職場の安全衛生気運の向上を図ります。



詳しくは東京労働局ホームページをご覧ください。

 

☑ 令和3年度の過労死等の労災補償状況が公表されました。

脳・心臓疾患に関する事案の請求件数は全国において753件で、前年度比31件の減となりました。支給決定件数は172件で、前年度比22件の減となり、うち死亡の件数は前年度比10件減の57件でした。

精神障害に関する事案では、請求件数は2,346件で前年度比295件の増加となり、うち未遂を含む自殺の件数は前年度比16件増の171件でした。支給決定件数は629件で、前年度比21件の増加となり、うち未遂を含む自殺の件数は前年度比2件減の79件でした。

詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください。

 

☑ 労働条件明示について

現行法上、労働基準法15条の労働条件明示では、雇入れ直後の就業の場所及び従事すべき業務を明示することとされており、勤務場所や業務内容の変更範囲までは求められていませんが、明示の対象に就業場所・業務の変更の範囲を追加することが適当であるとの「多様化する労働契約のルールに関する検討会報告」を受け、現在、労働政策審議会で議論されています。

検討会報告はこちら



最近の話題から

解雇無効時の金銭救済



男女の賃金の差異の公表



副業兼業ガイドライン改正案

